

★いちばん星通信

2023年秋

大阪弁トーク

民間人の大量虐殺は国際法違反！

「イスラエルがハマスの襲撃に復讐して地上侵攻するからガザの人は南に逃げろというてる。そして18日は病院が爆破される、いったいどういうことです。」

「イスラエルは以前からガザ地区にはたびたび空爆を行っています。」「今度のは？」「それは解りません。」

「ガザ地区は周辺を全て高い塀で囲まれていてイスラエルの検問所があり自由に外に出るできません。今全検問所(エジプトが管理する1か所も含む)が封鎖されています、屋根のない牢獄と言われてます」

「どれぐらいの人がすんでますん」

「200万とも250万ともいわれています、広さは東京の6割ぐらい。今、水も電気も遮断されています。」

「ガザはハマスが支配している。ヨルダン川の西にはパレスチナ自治区がある、どんな関係ですもん。」

「第一次大戦のイギリス。敵国トルコ支配下のアラブのゲリラ戦をさせ、戦後の独立を約束し、一方戦費調達のために国内のユダヤ人に2000年前に追われたパレスチナの地に建国を約束した、戦後はフランスとアラブをわけあう」「3枚舌やないですか」「守れぬ約束で凍結。そのごヒトラーによるユダヤ人虐殺があつて 第二次大戦後」「ああ国連決議や。パレスチナ地方はユダヤ人とアラブ人で半分づつにしる、エルサレムは国連が統治するいう。確か1947年」「それに反対するアラブの国々との戦争になりました。ユダヤ側が勝利し全土にイスラエル建国。土地を追われたアラブ人はヨルダン川西岸とガザ地区で難民の暮らしをさせられることになりました。」

「ここにPLOが設立されました。リーダーはアラファト議長。西岸地区とガザ地区を中心にパレスチナ人の独立国家を樹立してイスラエルと平和共存する選択をしました。1993年のオスロ合意でパレスチナ暫定自治区が成立、2012年国連に国家としてオブザーバー加盟」「それで和平になるはずやった」

「しかし、イスラエルは強硬派が政権を取るようになり自治区への植民をすすめる。これに対抗してパレスチナ側にもハマスが台頭し、2007年に選挙にかつてってガザ地区を支配するようになり、軍事路線をとる、これをイスラエルが制圧しようとして壁を作り空爆する。ハマスがロケット弾を発射するという。地獄です」

「アメリカは？」「アメリカ大統領は国内のユダヤ人の票が欲しいのでいつもイスラエル側についてます」

「200万もの人に南に逃げろゆうても逃げれるわけない。侵攻は虐殺になってまう。戦争知っている私らとしては侵攻やめて！政府もゆうてほしい！」「民間人の大量殺傷は国際法違反です。やめるようにと！」



イベント案内

おおさか絵がかり学習講演会「いま新たな戦前」に抗う～日本国憲法の平和的生存権の実践

11月2日(木)18:30～

PLP会館4F会議室にて(北区天神橋)

講演:清末愛砂さん 対談:木戸衛一さん

連絡先:大阪憲法会議・共同センター06-6352-2923

変えたらアカン! 平和憲法

市民パレード IN とよなか

11月3日(金・祝)10:30～12:00

豊中市役所前集合～豊中駅までパレード

輝け! 憲法 平和といのちと人権を

おおさか絵がかり集会

11月3日(金・祝)13:45開会

扇町公園にて コンサート、スピーチなど

閉会后市民パレード

とよなか「市民力」フェスタ

11月12日(日)10:00～15:00

大塚公園にて(豊中市南桜塚)

ステージ、模擬店、フリマ、古墳ツアーなど

★いちばん星は豚汁、コーヒー、ジャム、手相占いなどで出店します。

「新たな戦前」にさせない

九条の会・おおさか講演会

11月19日(日)14:00～エルおおさか南館ホール

池田香代子さんの講演、地域9条の会の報告など

TIFAセミナー「SDGsを知る、世界の中での日本の現状～SOS!このままでは地球が危ない～」

11月26日(日)14:00～16:00

とよなか国際交流センター 会議室にて

お話:三輪敦子さん(ヒューライツ大阪所長、SDGsジャパン共同代表理事)

問い合わせ・申込み:

NPO法人 国際交流の会とよなか(TIFA) 06-6840-1014

▶どうなる? 豊中の図書館◀



「市はみらいプラン大幅見直し！蛭池、高川は残す！蛭池図書館は子ども中心に。」経過を報告します。ご協力ありがとうございます！

***「歩いて行ける図書館の存続を求める署名」**

現在 19110筆

***市民によるタウンミーティング** 2022年 9月17日 どうなる？**豊中の図書館** 中川幾郎さん講演 教育委員会から説明 市議会議員の意見表明 意見交換(182人)2023年1月28日 **みらいプラン素案を巡って** 講演、市の説明、意見交換(127名)

4月30日 **見直された「みらいプラン」の内容** 私たちの望む図書館(119人)

***9月市議会に請願「市民の図書館アクセス権保障とサービス維持を求める請願」** →不採択

公開質問状・市議会選挙にあたって全候補に公開質問状 回答を公表・パブリックコメントを出す

署名の提出・教育長へ要望4回 読書振興課にも

***2022年10月文教常任委員会で明らかに**

市民一人当たり図書費 豊中・2557円、吹田 3672円、高槻3224円、枚方2968円。

***2023年1月 豊中市立図書館みらいプラン**

(素案) 蛭池・高川・服部は閉館 野畑、東豊中は大幅に縮小

***パブリックコメント実施される** 連絡会はパブリックコメント提出呼び掛け 全体で208人 681件

3月議会 蛭池、高川の閉館の費用を計上 予算可決

***3月30日 新たに「みらいプラン」策定** 蛭池、高川は分館として残す。閉館工事はしない、現状維持 ただし貸し出しはしない→5月20日 蛭池図書館説明会で市は「貸し出しも検討する」と発言 9月議会 蛭池図書館コンセプト「親子連れ・子どものための居場所作り」など 蔵書 57000→22000(児童書12000 成人書9000 館内閲覧1000)

***各地域で身近な図書館をまもる運動盛んに**

「服部図書館の存続を求める署名」4中自治会による「気軽に行ける地域の図書館を守るための署名」

***2023年7月、10月 図書館問題交流会**

(文責 熊野)

教育文化都市豊中で公共図書館の縮小？と世間を驚せたのに引き続き、学校図書館の地域開放が今、計画にあがっています。40年前点数至上主義の教育が進み、校内暴力が横行して尊い命が奪われるという痛ましい事件がおこり、市民も議会も行政もこれからの豊中の教育をどうするのかと、真剣に考えました。そこで行政が出した答えが「学校図書館の充実」です。こうして1993年から13年かけて学校司書が全校に配置されることになったのです。この間教育委員会も学校現場も市民も「授業に役立つ学校図書館の実現」に努力しました。

この様にみんなで守り育ててきた豊中の学校図書館ですが2026年度開校の庄内南校の学校図書館を地域開放するという計画です。その上これからの小中一貫校すべてで行うということです通信

学校図書館には学校図書館法があります。その定義には「学校教育に必要な資料を集め、整理しこれを児童生徒や教員の利用に提供することによって、教育課程の展開に寄与する」とあります。学校図書館を使う対象も、目的も規定されています。法に準きよして行政を行う立場の人が法を無視するのも非常識ですが、何より子どもたちの安全に心致さぬ教育委員会の発想に驚きです。この計画を知った時誰もが池田付属小の事件を思い起こしました。書架などで死角の多い図書館で、子どもが危害を加えられる場面を想像しただけで恐ろしくなります。

土日に一般の人が使った後、本がぐちゃぐちゃに返されていたら学校司書が月曜日の朝それを正しく戻す作業は大変です。この学校司書の負担は子どもや先生へのサービスに支障をきたすと考えられます。

公共図書館とは目的が異なる学校図書館を一般に解放して、減らした公共図書館の穴埋めをするのはその地域住民に大変失礼なことであり、学校図書館は子どもたちの教育のために正しく運用されるべきです。(安達)

明るく元気に怒りたい人、いちばん星へ！

九条の会・豊中いちばん星

連絡先 FAX: 06-6849-0251 Eメール:

yuriko99@nifty.com

URL:<http://9jo-ichibanboshi.jimdo.com/>

<アフガニスタン女性支援にご協力ください>

多くの人道的課題を抱えるアフガニスタンにおいて、昨年到现在もまた大地震が発生。気候変動による干魃や洪水にも見舞われ、貧困や食料不足が深刻化しています。とりわけタリバン支配下で人権を抑圧されている女性達の苦しみは計り知れません。以下の2つの団体では現地の女性一人ひとりに寄り添い、心の通った支援をしていますので、ご紹介させていただきます。

●アフガニスタン女性支援プロジェクト

EJAAD(エジャード)

刺繍製作を通じた生活・自立支援

●RAWA(アフガニスタン女性革命協会)と連帯

する会 地震被災者へのカンパ募集中



エッ？ 学校図書館の地域開放？